



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平賀

コード番号 7863 URL <http://www.pp-hiraga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平賀 治郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 須賀 通雄

TEL 03-3991-4541

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,757	△0.2	283	54.7	304	51.0	244	△15.0
27年3月期第3四半期	6,769	—	183	—	201	—	287	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	66.32	—
27年3月期第3四半期	78.07	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第3四半期	5,131	—	2,065	—	40.2	560.75	—	
27年3月期	4,964	—	1,850	—	37.3	502.48	—	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 2,065百万円 27年3月期 1,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	1.4	229	111.6	253	95.2	188	△43.9	51.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	4,015,585 株	27年3月期	4,015,585 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	332,198 株	27年3月期	332,146 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	3,683,410 株	27年3月期3Q	3,683,492 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(5) セグメント情報	P. 7
(6) 重要な後発事象	P. 7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減退による世界経済に与える影響が懸念される中、企業収益の改善が見られるなど景気は回復基調となりました。

印刷業界におきましては、企業間での価格競争により販売価格が下落した状況が続いており、経営環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社はあらゆる販売促進物の企画、制作、配送までを一貫して行う企業として、顧客の販売促進活動について様々な企画、提案を行ってまいりました。

こうした活動により、受注につきましては、順調に獲得できることとなりました。

また、製造面につきましては、受注に見合ったコスト作りを目指し、生産管理に注目し、製造原価の見直しを行ってまいりました。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は67億57百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益は2億83百万円(前年同四半期比54.7%増)、経常利益は3億4百万円(前年同四半期比51.0%増)、四半期純利益は2億44百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、31億83百万円(前事業年度末は29億18百万円)となり、2億65百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ受取手形及び売掛金が3億77百万円増加したものの、仕掛品が30百万円、未収入金が26百万円、原材料及び貯蔵品が9百万円、その他が44百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、19億48百万円(前事業年度末は20億45百万円)となり、97百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ投資有価証券が47百万円、有形固定資産が33百万円、無形固定資産が12百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、21億51百万円(前事業年度末は21億40百万円)となり、11百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ支払手形及び買掛金が1億84百万円、未払法人税等が36百万円増加したものの、短期借入金が1億8百万円、賞与引当金が57百万円、その他が44百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、9億15百万円(前事業年度末は9億73百万円)となり、58百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ退職給付引当金が10百万円増加したものの、社債が70百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、20億65百万円(前事業年度末は18億50百万円)となり、2億14百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ利益剰余金が2億14百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日平成28年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,199	1,182,490
受取手形及び売掛金	1,126,604	1,504,397
有価証券	17,959	19,065
商品及び製品	76,927	73,351
仕掛品	98,360	67,980
原材料及び貯蔵品	94,483	84,776
未収入金	226,646	200,394
その他	97,106	52,982
貸倒引当金	△1,786	△1,809
流動資産合計	2,918,501	3,183,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,569	447,546
土地	907,360	907,360
その他(純額)	111,660	98,595
有形固定資産合計	1,486,590	1,453,501
無形固定資産		
その他	78,252	65,546
無形固定資産合計	78,252	65,546
投資その他の資産		
投資有価証券	434,957	386,989
破産更生債権等	301,170	297,629
その他	46,050	42,216
貸倒引当金	△301,170	△297,629
投資その他の資産合計	481,007	429,206
固定資産合計	2,045,850	1,948,253
資産合計	4,964,352	5,131,882
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,234,797	1,418,983
短期借入金	442,000	334,000
未払法人税等	2,579	39,243
賞与引当金	80,500	23,500
その他	380,376	335,597
流動負債合計	2,140,253	2,151,324
固定負債		
社債	150,000	80,000
退職給付引当金	604,539	615,238
その他	218,710	219,855
固定負債合計	973,249	915,093
負債合計	3,113,503	3,066,417

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	425,177	425,177
利益剰余金	1,598,743	1,813,568
自己株式	△259,790	△259,806
株主資本合計	2,198,450	2,413,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	195,031	194,840
土地再評価差額金	△542,633	△542,633
評価・換算差額等合計	△347,601	△347,793
純資産合計	1,850,848	2,065,465
負債純資産合計	4,964,352	5,131,882

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,769,403	6,757,303
売上原価	5,477,685	5,410,423
売上総利益	1,291,717	1,346,879
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	436,873	439,300
賞与引当金繰入額	9,651	8,246
退職給付費用	11,564	13,898
その他	650,215	601,779
販売費及び一般管理費合計	1,108,305	1,063,225
営業利益	183,412	283,654
営業外収益		
受取利息	1,862	1,428
受取配当金	7,893	6,798
受取家賃	3,186	3,147
作業くず売却益	9,028	11,182
その他	7,501	6,722
営業外収益合計	29,471	29,278
営業外費用		
支払利息	10,665	7,383
その他	238	582
営業外費用合計	10,903	7,966
経常利益	201,980	304,966
特別利益		
固定資産売却益	-	69
投資有価証券売却益	-	4,653
受取補填金	657	4,500
訴訟関連費用精算益	8,871	-
特別利益合計	9,528	9,222
特別損失		
固定資産除却損	12	796
特別損失合計	12	796
税引前四半期純利益	211,497	313,392
法人税、住民税及び事業税	468	25,167
法人税等調整額	△76,541	43,933
法人税等合計	△76,073	69,100
四半期純利益	287,570	244,292

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

以 上